

# 3 グループ

講演をうけての感想	苫小牧市の現状はどうか	孤立を防ぐために現在実践していること	孤立を防ぐための課題は何か	課題を解決していくための方策	「やさしい街づくり」のため自分では何が出来るのか
<ul style="list-style-type: none"> <li>身元引きれりの人がたくさんいることを初めて知った。数か所は訪問的</li> <li>地域の至りば横のつながり。10年後に「助けて」と言える環境をつくりたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者の多い。独居が多い。</li> <li>高齢夫婦の認知症、歩行困難。倒れる寸前。夫婦世帯の把握ができていない。</li> <li>独居は行かない。夫婦は行かない。</li> <li>民生委員の名簿を受け見守りしている(100年代の世帯)</li> <li>独居の死亡の件数ある。</li> <li>独居者支援拒否の事例あり</li> <li>施設に入れたくない。(年金が足りない) 満所</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「ホトカズ」を月何回か開演している。</li> <li>地域で暮らしていけるよう横のつながりをつくる。</li> <li>退職したNPOの会をつくり、月1回「健康サロン」の開催を実施。</li> <li>「ふゆのこ」音楽療法。</li> <li>「ラジオ体操」市民踊り。</li> <li>「健康講話」「バスツアー」マイカゴ持参の茶会。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>長期不在時の連絡体制。施設に入るとわからない。→連絡体制。車庫や包括から連絡のほい。</li> <li>縦のつながり → 横のつながり。緊急連絡先わからない。</li> <li>介護サービスの低下。制度にもよる部分。</li> <li>子供はあてにできない。</li> <li>地域の人と顔面を合わせたこと少ない人多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>連絡体制</li> <li>地域ケア会議 (担当の人11回時の市民参入)</li> <li>安心のため、携帯電話をもつ。</li> <li>一歩かたはれる(肉づつ)</li> <li>何かある時、現場から発言している。</li> <li>横のつながり、信頼関係をつくる。</li> <li>新聞に打ちこっているところのサインを、見守り</li> <li>高齢者から外に出していき環境をつくる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ラジオ体操もできる。</li> <li>あはれをつくること、ほいめる。 ↓ 「助けて」という声を出せる</li> <li>いつとも違う状況を見ていること、地域にほいめる</li> </ul>